



長い夏休みが終わり、授業再開!

このところ日没の時間が早まってきているのが感じられるようになってきました。季節は確実に移ろっているようです。一時ずいぶん暑い日がありましたが、それも弛んできているようです。

さて、今日から補習授業校の授業が再開されます。子どもたちの思いとしては、休みが終わってしまったな、という寂しさとまた友達に会える、という嬉しさが交ぜになっているのではないのでしょうか? この夏休みはどう過ごされましたか? 休み中でなければできないような様々な体験をしたり、家族と一緒に楽しい時間を過ごされたことと思います。それらを通して、きっと体も気持ちもリフレッシュできたものと思います。まだ現地校の方の休みは続いているようですが、気持ちをこれまでのお休みモードから学校モードに切り替えて、しっかり頑張らせていただきたいと思います。

例年のことですが、この休み中に日本から来たばかりの新しいお友達が、それぞれの学年に入り、今日から補習授業校の仲間に加わっています。子どもたちには、自分が来たばかりの時の不安だった頃を思い返して、優しく接してあげて欲しいと思います。これから始まる現地校のこともぜひ教えてあげてください。

この休み中に子どもたちはいろいろなことに挑戦し、自分では気付かぬうちに思わぬ力を付けてきていることと思います。そのことに触れた新聞記事がありましたので紹介します。

今年夏休み中に、中高等部を対象に補習を行いました。場所は、ニューロッシェルの事務所の図書室や校長室を使いました。日数は4日間、7/17, 24, 31, 8/14の土曜日で、時間は朝の9時から午後1時までの4時間。日によって参加者も指導者も入れ替わりましたが、LI校からは2~4名、WTA校は1名の参加でした。基本的には文系と理系の先生にそれぞれ付いていただき、熱心に学習が行われました。家ではできない宿題も仲間がいれば苦にならないようです。

これは、今年導入したガイドラインの救済措置の一環としての位置づけでもありました。来年度は、形態は違って来るかも知れませんが、続けたいと思っています。ご利用ください。



8/14の補習授業風景(校長室)

千葉の海 大きくなった都会っ子
(朝日新聞) 五線譜より抜粋 8/17
千葉・館山の穏やかな海に白い水泳
帽子が揺れている。都内から5泊6日
でやってきた中学校の生徒達。合宿の
最終日は3キロの遠泳に挑む。
海ではクラスで行列になり、学校の
テントのある砂浜を目指す。無我夢中
で手足を動かす。平泳ぎのフォームは
崩れがち。
泳ぎ始めて1時間半。砂が手に触れ
た。立ち上がると浅い。「ゴールした
んだ」
無理だと思っていたことができた。
自分の可能性がぐんと広がった瞬間。
そのことに本人が気付くのは、もう少
し後かもしれない。

WTA校の中1担任が
ようやく決まりました。

関係の皆様には長い間大変ご心配をおかけしましたが、ようやく決定し、21日から正式に担任として勤務していただくことになりました。

村井 功先生です。先生には休みに入る前にも数回代教として入っていただき、子どもたちとも出会い済みです。

今後中高等部の理系の先生としてご活躍いただくこととなります。保護者の皆様もどうぞ宜しくお願いいたします。